

中学生対象夏休み広報企画

「見て 聞いて 考えよう！裁判員裁判」

平成29年8月2日（水）、京都地方裁判所の大法廷に中学生の皆さんをお迎えし、模擬裁判員裁判を行いました。

「強盗致傷事件」を題材にしたシナリオに沿って、中学生の皆さんには、裁判官・検察官・弁護人の役を演じていただきました！

① 模擬裁判の様子 (審理)



(評議)



(判決言渡し)



それぞれの役割や裁判の流れについて勉強した後、模擬裁判の始まりです！

裁判用語もたくさんありましたが、みんなしっかりとそれぞれの役を演じていました！

裁判官と一緒に、被告人の有罪・無罪について考えました。

色々な視点から考え、それぞれの意見を発表しました！

評議で考えた判決を、被告人に言い渡します。

判決は「**無罪**」。みんなで、納得のいく判決を出すことができました！

② 裁判官への質問コーナー



模擬裁判の後は、裁判官への質問コーナーです。

裁判官になったきっかけや、判決を作成するときの考え方など、様々な質問をしました！

③ 自由見学



最後は、法廷の自由見学です！演じた役以外の席に座ったり、裁判官が着る「法服」を着て、記念撮影もしました♪

☆参加者の感想☆

- ・多方面からたくさんのことを考えることができたので、すごくいい経験になった。
- ・思ったよりも本格的で、裁判員裁判の細部を学ぶことができ、とても楽しかった。法律について学びたいという気持ちがさらに強くなった。
- ・裁判官役という珍しい体験ができてとても楽しかった。

京都地方裁判所では、今後とも皆様に裁判所を身近に感じていただけるような企画を実施してまいります。

御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

京都地方裁判所総務課広報係

